

岡山県運動部活動の在り方に関する「運動部活動方針」実践推進事業 実践事例集

- I 部活動を通じた食育の推進

II 合理的でかつ効率的・効果的な活動実践

III ライトスポーツの実践

【岡山県立玉島高等学校】 ←学校名

1 実践テーマ	II 合理的でかつ効率的・効果的な活動実践
2 実施対象部活 (学年・人数)	剣道部 (1年男子6名・女子4名、2年男子6名・女子1名、 3年男子9名・女子3名)
3 実施期間	令和4年4月～令和5年3月(1カ年)
4 達成目標	○競技実績が昨年度より向上している ○生徒が時間管理を徹底し、自主的に部活動に参加している
5 取組内容	○指導実績があり、実践的な取り組みをしている他校訪問を行い自校の活動に取り入れる ○現地に行き、合理的な稽古器具などを使用して稽古に取り組む ○競技実績のある講師を招聘し講演会を行う
6 取組における工夫点	○現地訪問をした際、器具を用いての稽古を実践してもらい、自校の取り組みに生かす手立てを考察した ○競技実績のある講師による講演や指導実習を参考にし、自校の稽古に取り入れる指導と取り入れない指導(時間がかかるもの)を区別した
7 主な成果	○生徒の意識が変化した ○時間管理に関してはすでに生徒自身が意識しており、短時間で効率的に活動するという意識付けがされていることが把握できた ○競技実績が向上したとは言えないが、昨年度とほぼ同等の実績をおさめることができた(全国大会ベスト16)
8 主な課題等	○生徒の意識の変容を具体的に示す必要がある ○現状より合理的・実践的な活動を高めていくための取り組みを考えていく必要がある
9 提案等	○練習時間だけでなく、日常生活で競技力向上につながる取り組みをする ○練習時間の中でも、生徒自身が活動しないときの取り組みを工夫し、生徒に提案する(剣道の場面では掛け手ではなく基立ちの場面での工夫など)